

# StoveTent Nona T/C MANUAL



マウントスミ  
www.mt-sumi.com  
〒601-1396 京都府宇治市菟道東垣内 39-2  
TEL / FAX 0774-26-9332  
E-Mail info@mt-sumi.com



本取扱説明書をご利用前にお読み頂き、正しくご利用ください。

弊社 web サイトから説明書のダウンロードが可能  
可能です。(右の QR コードからアクセス)  
本説明書に記載のない使用方法の解説なども  
ご確認頂けます。



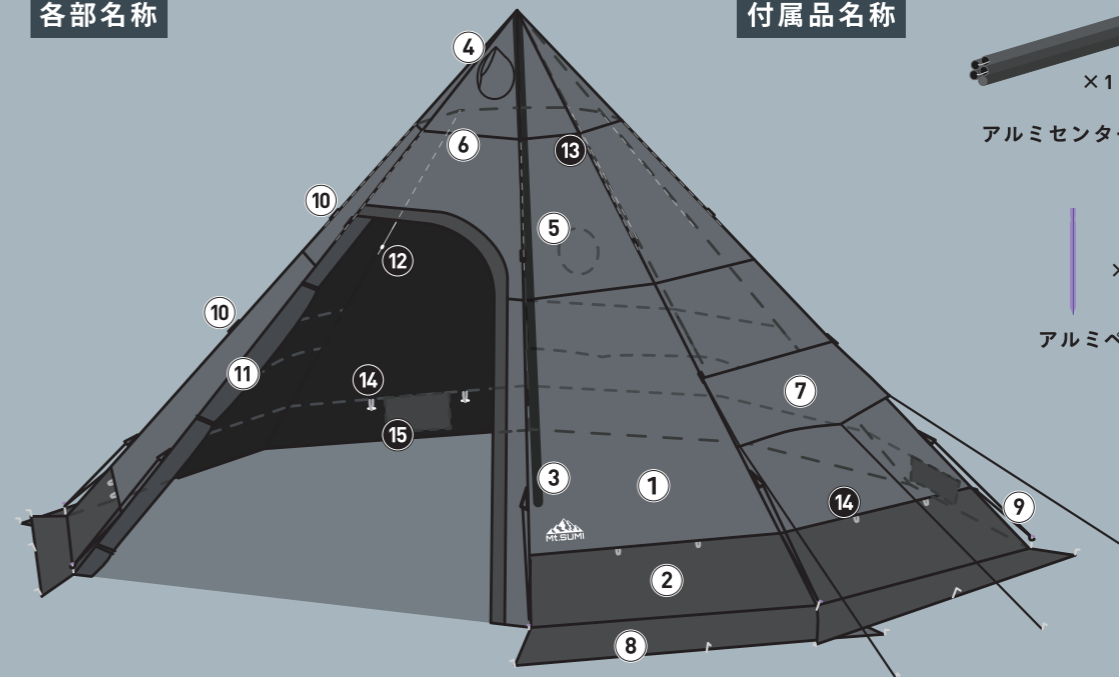
## スペック

商品名: StoveTent Nona T/C / ストーブテント ノナ T/C  
品番: TS2109N  
サイズ: w 510 × d 500 × h 320 cm  
重量: 15kg  
人数: 8人

カラー: マウントスミカラー  
内容: 幕、ポール、ペグ  
生地: T/C 生地 (ポリエステル 65% / コットン 35%)、ポリエステル生地  
ポール: アルミニウム  
生産国: 中国

## 各部名称

## 付属品名称



### ① T/C 生地

燃えにくい T/C 生地を採用。  
配合を工夫し軽量化。撥水加工も。

### ② ポリエステル生地 (耐水圧 3000mm)

撥水に優れたポリエステル生地を採用。

### ③ アルミセンターポール

高強度のアルミニウムを採用。  
5分割になっており、コンパクトに収納が可能。

### ④ トップチムニーホール (煙突出し口)

センターポールの横から煙突を出す穴を標準装備。  
未使用時はマジックテープで穴を閉じることが可能。

### ⑤ サイドチムニーホール (煙突出し口)

テント奥の中段にもチムニーホールを標準装備。

### ⑥ トップベンチレーション

テント上部から換気が可能。内側のメッシュ生地で塞ぐことも  
可能なため、虫やチリの侵入を防げます。

### ⑦ サイドベンチレーション (4カ所)

内部の換気や、煙突の横出しにも利用が可能。  
メッシュと T/C 生地の二重構造なので、虫の侵入を防げます。

### ⑧ スカート (9カ所)

雨や雪中キャンプから内部を守ります。

### ⑨ ストラップ

テントの裾の張りを 2 本のストラップで調整が可能。

### ⑩ ガイロープ

強風時にテントをより強固に固定するために使用します。

### ⑪ 入り口 (二重構造)

メッシュと T/C 生地の二重構造。  
虫の侵入を防ぎながら換気や外の景色を楽しめます。

### ⑫ トップベンチレーション用ストラップ

トップベンチレーションを開閉するためのストラップ。  
引き下げて開けることができるため、脚立などを使わずに開閉が可能。

### ⑬ リング (9カ所)

アクセサリの接続が可能。インナーテントやランタンなどの使用にも。

### ⑭ ボトムベンチレーション

裾のポリエステル生地部分を捲り上げることでボトム部分でも換気が可能。

### ⑮ メッシュポケット (2カ所)

小物を収納するのに便利です。

**警告** 誤った取扱いをした時に、死亡または重症を負う可能性がある内容を示しています。

＞使用前に必ず取扱説明書を読み、一度組み立ててください。

キャンプ当日までに、取扱説明書通りに幕・ポール・付属品がセットされているかをご確認ください。

稀に縫製上の不備やセットミスなどにより、テントが設営できない場合があります。テントを収納する際は、ペグ、ガイロープ、ポールなどのパーツの数量をご確認ください。

＞テントの中やテントの近いところでは炎の上がる、また火の粉が飛ぶような焚火や火気を絶対に使用しないでください。

・テントのT/C生地は難燃性ですが不燃性ではありません。生地の撥水加工は、熱に強いものでなく、また、ボトムとスカートの部分はポリエステル生地のために熱に弱く燃えやすくなっています。

・テントでの火気の使用は火災、ヤケド、一酸化中毒による酸欠の原因となります。

・テント内部の照明にはバッテリー式のランタンや懐中電灯を使用してください。

＞キャンプ場やキャンプ許可地域以外では使用しないでください。

キャンプ場以外でのキャンプは、基本的に禁止されています。また、知らない土地では、どのような危険が潜んでいるかわかりません。

特に河原でのキャンプは、上流での雨やダム放水などにより、急に水位が増すこともあり危険です。

＞事故を防ぐために、定期的に換気を行ってください。

最悪の場合、酸欠により死にいたることもあります。ベンチレーションを有効に活用し、定期的に換気を行ってください。

薪ストーブを使用する際は、一酸化炭素中毒に十分注意し、各自の責任の元ご使用ください。

＞「取扱説明書」はいつでも見られる所に必ず保管してください。

安全上に関する重大な事項をここに示しています。製品を安全に正しくご使用頂き、危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

**注意** 誤った取扱いをした時に、人が傷害を負ったり物的損害の可能性のある内容を示しています。

＞ポールを扱う際は、周囲に十分注意し、事故やケガなどないよう設営してください。

長いポールは、思わぬ接触で周囲の人や特に子どもの顔や目に当たったり、車などをキズつける可能性があります。

＞テントは必ず固定してください。

・強風でテントが飛ばされたり、倒壊する危険があります。テントが吹き飛ばされた際に、人や車、他のテントなどに当たり大きな損害を引き起こす可能性があります。

・ペグは必要本数きちんと打ってください。また、補強用ガイロープも状況に応じて必要数きちんと張ってください。撤収時には、使用したペグを必ず全数抜き取り、数量をご確認ください。

・テントの設営や撤収時、ペグで固定する前後で、急な突風等でテントが飛ばされることがあります。テントが飛ばされないように、十分にご注意ください。ペグを打つ前に、補強用のガイロープをあらかじめ仮止めしておく方法もあります。また、撤収時の場合、最後に補強用ガイロープを抜けば飛ばされることがありません。

＞テントを無人の状態です長時間、放置しないでください。

急な天候の変化等により、テントが倒壊したり、飛ばされたりする可能性があります。

テントを置いて避難するような状況下では、テントを倒し飛ばされないよう重りを載せるなどしてください。

＞通行する人の妨げにならないようにテントを設営してください

通行する人が、ガイロープに気づかなかったり、避けようとして、ケガの原因になることがあります。

昼夜を問わず、通行する人がわかるようガイロープに目印を付けたり、テント周辺の通路を十分に確保してください。

＞テント本体に付属のペグ、必要に応じてガイロープを使用し、テントがたるまないように設営してください。

テント生地がたるんだ状態では、風の力が余計にかかり飛ばされたり、倒壊する原因になります。

ペグは根本まで地面にしっかり打ち込み、ガイロープは強いテンション（張力）を保つようにしてください。

＞就寝時や、強風時、雨天時には入口のファスナーの開口部を閉じてください。

夜間、急に天候が変わることがあります。そのため、強風でテントが飛ばされたり、倒壊する危険があります。

＞台風などの悪天候時には、キャンプ場の管理担当者の指示に従い、安全な場所に避難してください。

悪天候が予想される状況下で、キャンプを強行する事は大変危険です。また、悪天候時、テント内は決して安全な場所ではありません。常に最新の気象情報をご確認ください。

台風などの強風や豪雨の場合には、テントをどんなにしっかり固定していても、吹き飛ばされたり、倒壊する可能性があります。

また、テントに落雷する可能性もあり危険です。

なお、キャンプ場内の避難場所を必ず事前にご確認ください。

組み立て方法



1.直径6mほどの範囲がとれる場所を探し、テントのセンターと入り口の方向を決める



2.センターにガイドを固定する。



3-1.同梱されているガイドとロープを使用し、ペグを地面に固定していく(9カ所)



3-2.ペグは中心とは反対方向に少し倒すと抜けにくくなります。



4.入り口と各ペグの位置に合わせてテントを広げる。



5.あらかじめストラップは緩めておく。

組み立て方法



10.太い方のストラップを引っ張り、テントの貼り具合を調整する。



11.グラウンドシート(別売り)を使用する際は、細い方のストラップを引っ張り、テントの貼り具合を調整する。



12.ストラップの調整後のイメージ。



13.全体のストラップを調整したイメージ。



14-1.スカート固定する。1枚につき3カ所にペグを打つ。中心から打ちつけると綺麗に貼れる。



14-2.この際もテントの中心とは反対向きにペグを倒すと抜けにくくなる。



6.固定したペグにストラップを掛ける。



7.入り口を開ける。



8.ポール用キャップにポールを差し込む。



9.棒を持ち上げながらテントを引き起こし、ガイドを置いていたセンターにポールを置く。



9.テントを起こした際のストラップの状況。



使用方法 サイドベンチレーション



1. サイドベンチレーションのガイローブをセンターからペグダウンする。



2. 次にサイドのガイローブをペグダウン。



3. テントの中心から延長線上に延ばすと綺麗に張りやすいです。



4. ガイローブのテンションを調整する。



5. 自在(調整用のパーツ)



6. 完成イメージ。



7. サイドベンチレーションの内側は二重構造の窓になっています。



8. メッシュ面だけの場合。



9. 両面を開放した場合。



10. サイドベンチレーションから薪ストーブの煙突を横だしたイメージ(内側から)。



11. サイドベンチレーションから薪ストーブの煙突を横だしたイメージ(外側から)。



12. サイドベンチレーションから薪ストーブの煙突を横だした全体イメージ。

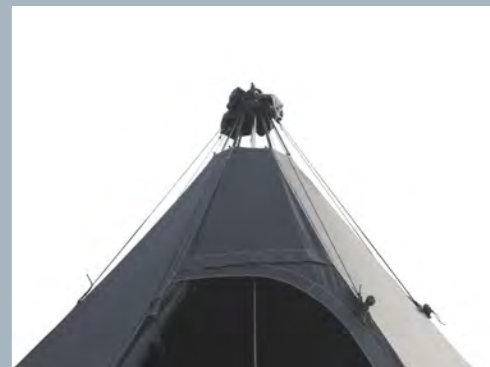
使用方法 トップベンチレーションとトップチムニーホール



1. テント内にあるトップベンチレーションの昇降コードを引っ張った状態でとめる。(9カ所)



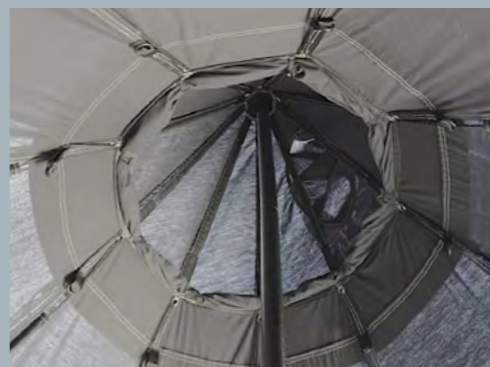
2. トップベンチレーションが閉じた状態



3. トップベンチレーションを開けた状態。



4. トップベンチレーションもメッシュで覆うことが可能。



5. メッシュを収納した際のイメージ。チムニーホールはマジックテープで塞がっているため、煙突を通す前に開けてください。



6. トップベンチレーション下部にはリングを設置。インナーテントやランタンなどアクセサリの接続が可能。(9カ所)



7. トップチムニーホール(煙突出し口)から煙突を出したイメージ。



8. 煙突ガードやバンテージ推奨。



9. テントの高さが320cmあり、トップチムニーホールも同等の高さになる。煙突も長めの設定が必要。



10. トップチムニーホールに煙突を設置した際のセンターポールと薪ストーブの位置関係。



11. トップチムニーホールに煙突を設置した際のテント内での薪ストーブの位置関係。



12. トップチムニーホールに煙突を設置した際の全体イメージ。

使用方法 サイドチムニーホール



1. サイドチムニーホールに設置した際の入り口から見た位置関係。



2. サイドチムニーホールもトップチムニーホール同様にマジックテープにて口を塞いでいる。



3. 使用前にマジックテープを開ける。



4. 煙突をサイドチムニーホールへ通す瞬間のイメージ。



5. 煙突ガードやバンテージ推奨。



6. テント外から見たサイドチムニーホールに煙突を設置した使用イメージ。



7. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のテント内での薪ストーブの位置関係。



8. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のテント内での薪ストーブの位置関係。



9. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のイメージ。



10. サイドチムニーホールに煙突を設置した際の入り口との位置関係。



11. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のテント後方からのイメージ。



12. サイドチムニーホールに煙突を設置した際のイメージ。

使用方法 入り口とボトムループ



1. 入り口を開放した際のイメージ。



2. 入り口をメッシュのみにした際のイメージ。



3. 入り口を閉じた際のイメージ。



4. 入り口のT/C生地面とメッシュ面を両方留めた状態。

T/C生地面とメッシュ面の間にあるフックをテント内にあるループを経由し、テント外のループに引っ掛けて留める仕様。



5. 入り口のメッシュ面のみを使用する場合、T/C生地面のみをフックで留める仕様。



6. スカートを留めることも可能。



7. ボトムとスカートを捲り上げ、テント内にあるフックとテント外にあるループを引っ掛けて留める仕様。



8. テント内のフック。角9ヶ所と一辺につき2カ所。

片付け方法



1.ストラップを緩める(9カ所)



2.スカートのペグを外す。



3-1.センターポールを外す。



3-2.センターポールを倒す。



4.センターポールを幕から引き抜く。



5.センターポールを折り畳む。



6.入り口を閉じる。



7.ストラップをペグから外す。



8.幕の頂点にあるループをペグに引っ掛ける。



9.頂点を起点に裾を重ねるように半分に折り畳む(この時、9角形なので、角はズレます。)

入り口を正面にすると次回使用時に便利です。



10.裾側の端を中心に折り畳む



11.反対側の裾の橋も中心に向かって折り畳む

片付け方法



12.中心を揃える



13.さらに裾の端を中心に向かって折り畳む



14.さらに反対側の裾を折り畳む(この際にカバンの幅に入るように折り畳む幅を調整すると入れやすいです。)



15.裾側を頂点側へ半分に折り畳む



16.さらに半分に折り畳む



17.頂点に向かって丸めていく(幕内に入っている空気を抜くイメージで巻き上げる。)



18.頂点のループをペグから外す。



19.収納バッグへ入れる。

片付け方法



20. ベグを入れた袋やセンターポールも収納バッグへ入れる。



21. ポールがしっかり入るように調整する。



22. ファスナーを掴みながらスライダを閉じていく。



23. ファスナーを寄せながらスライダを閉じていく。



24. ファスナーを寄せきれない場合は全体を押し、中身を圧縮調整することで閉じやすくなります。



25. 最後までスライダを閉じる。



26. バックルをとめる。



27. ストラップを引き、しっかり固定する。



28. 収納完了(画像はサンプル段階のもので、実際の色味やロゴの入り方が変更になっております。)

メモ

Blank area for notes.